

勾当台公園再整備基本計画 ー概要版ー

令和5年5月

仙台市

## 目次

I.計画の背景と目的	
-1.計画の背景	1
-2.計画の目的	1
II.基本理念	1
III.基本計画	
-1.各広場の性格付け	2
-2.空間構成計画	3
-3.再整備計画	
1)再整備計画図	4
2)各広場の整備計画	
①にぎわいの広場整備計画図	5
②いこいの広場整備計画図	6
③かたらいの広場整備計画図	7
3)整備イメージパース	
①新本庁舎からの眺め	8
②いこいの広場	9
③かたらいの広場	10
4)整備年次計画	11
-4.計画の作成に向けた流れ	12

## I. 計画の背景と目的

### —1. 計画の背景

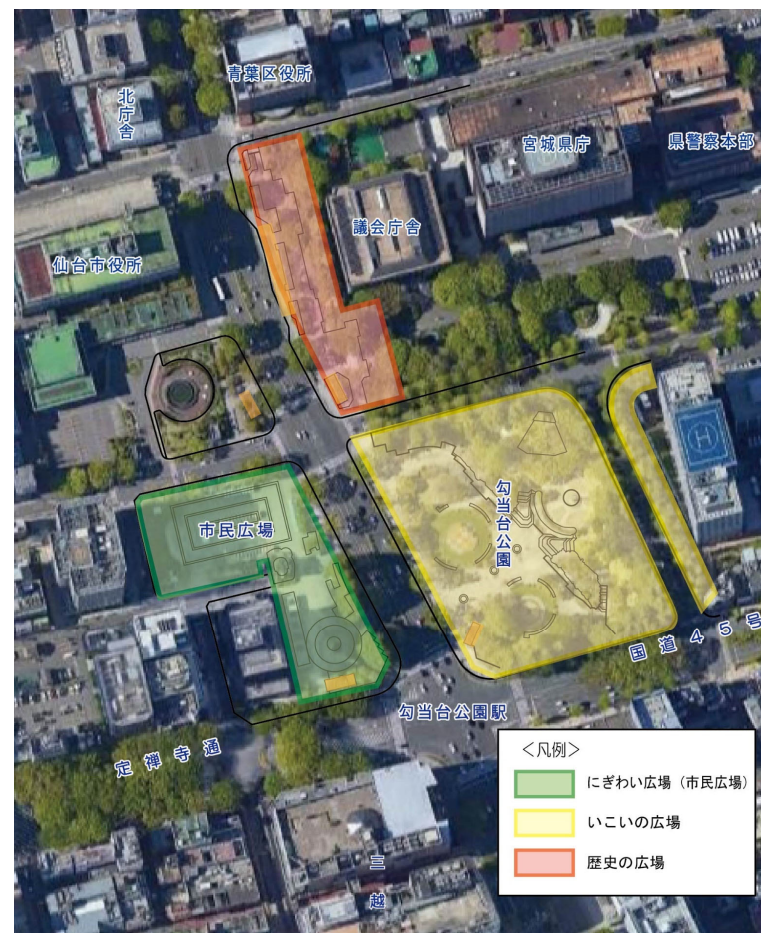
勾当台公園は、多種多様なイベントが開催されるにぎわいの場として、また豊かな緑に囲まれたいこいの場として多くの市民に親しまれているが、整備後30年以上が経過し、施設に老朽化がみられるほか、市役所本庁舎建替事業をはじめ、公園を取り巻く環境も大きく変わろうとしている。

とりわけ、市役所本庁舎と本公園一帯の勾当台地区は、仙台市基本計画(令和2年度策定)において「豊かな公共空間と市民等の多様な主体が展開する多彩な活動が日常的なにぎわいと交流を生み出す場」として位置づけられており、これを踏まえ市役所本庁舎建替基本設計や勾当台・定禅寺通エリアビジョンの策定が進められた。

こうした公園周辺地区における都市整備事業の進行を背景として、令和4年度には勾当台公園再整備基本構想(令和4年6月)を策定し、これに引き続き基本計画の検討が進められることとなった。

### —2. 計画の目的

本計画は、再整備の主題など再整備の方向性を明確にするために策定した勾当台公園再整備基本構想で設定したコンセプト、再整備の方向性に基づき、計画の基本方針及び再整備施設や導入施設の内容等を設定するとともに、景観・環境保全・管理運営等の検討に基づいて、空間形成及び動線を定めるなど、勾当台・定禅寺通エリアで進められている他事業との連携を図りながら、エリアの拠点となり周辺道路や施設等と一体的な利活用空間を創出する公園とするため再整備基本計画を策定するものである。



名称	勾当台公園
所在地	仙台市青葉区本町三丁目9-2外
公園別	近隣公園
規模	26,887 m <sup>2</sup>
設置	昭和31年度
改修	平成元年度

■エリア別面積
【にぎわい広場(市民広場)】 約8,000m <sup>2</sup>
【いこいの広場】 約15,000m <sup>2</sup>
【歴史の広場】 約4,500m <sup>2</sup>

## II. 基本理念

### Common Garden

～「ひと」と「まち」をつなぐゆとりとにぎわいの拠点～  
"Common Space" × "Garden"

豊かなみどりと人の活動・にぎわいとが調和した「杜の都 仙台」の暮らしの豊かさを実感できる、また新しいこと(市民活動等)へのチャレンジや、思い思いの利用ができる「みんなが使い・育てる私たちが誇りに思う庭」として、仙台のシンボルとなる公園を目指します。

### 【基本的な方向性】

#### 1. 仙台ブランドの発信拠点【世界とつながる】

仙台・青葉まつり、仙台七夕まつり、定禅寺ストリートジャズフェスティバル、SENDAI 光のページェントなどの仙台の魅力を発信する大規模なイベントのメイン会場としての使用やブランド力を持つ公園デザイン等を通じて“The Greenest City SENDAI”の発信拠点とします。

#### 2. 多彩な市民活動による交流と創造の場【人がつながる】

新庁舎低層部や勾当台通・定禅寺通、西公園・錦町公園の広場と連携・分担しながら、市民活動のチャレンジの場となるとともに、市民団体や市民同士の交流が深まり、まちづくりを創造する場とします。

#### 3. 都心のサードプレイス【心がつながる】

コミュニティライフを実現するオープンスペースとして、昼間だけでなく、夜間は照明など光の演出により、誰もが気軽に、安心して訪れる居心地の良い都心のオアシス空間をつくり、市民生活に「いこいやゆとり」を提供します。

#### 4. みどりの回遊拠点【街がつながる】

仙台のグリーンインフラである「都心部のみどりの回廊」の拠点として、にぎわい・レクリエーション・緑陰の提供等の多様な緑の機能を活用しながら、まちの回遊性を高め、にぎわいと交流の拠点とします。

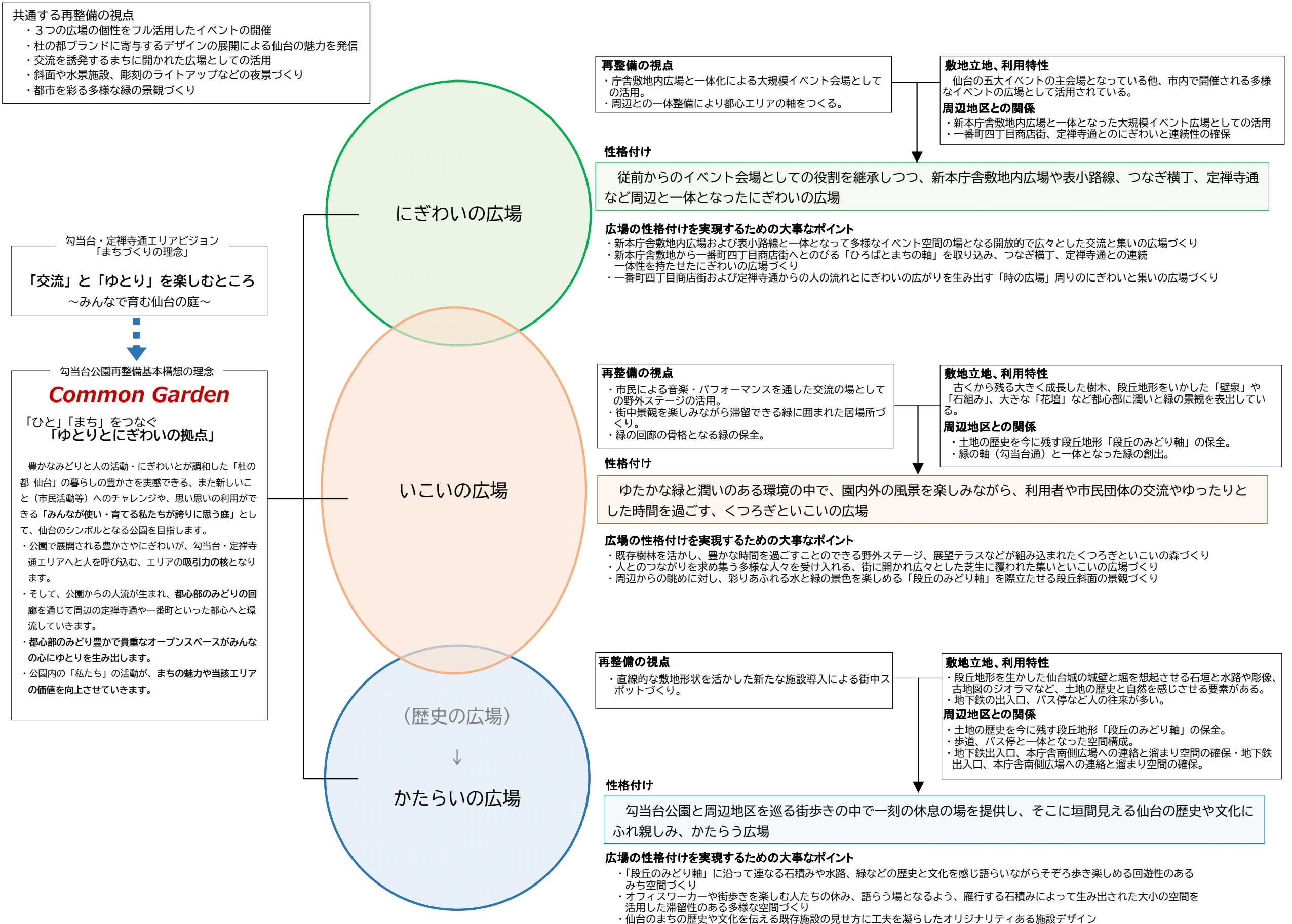
#### 5. エリアマネジメントの展開【時がつながる】

新本庁舎低層部や定禅寺通活性化の取組みと連携し、勾当台・定禅寺通地区におけるエリアマネジメントの展開等により、地区のブランディングを強化し、良好な環境や地域の価値を向上させ、未来へと継承します。

### Ⅲ. 基本計画

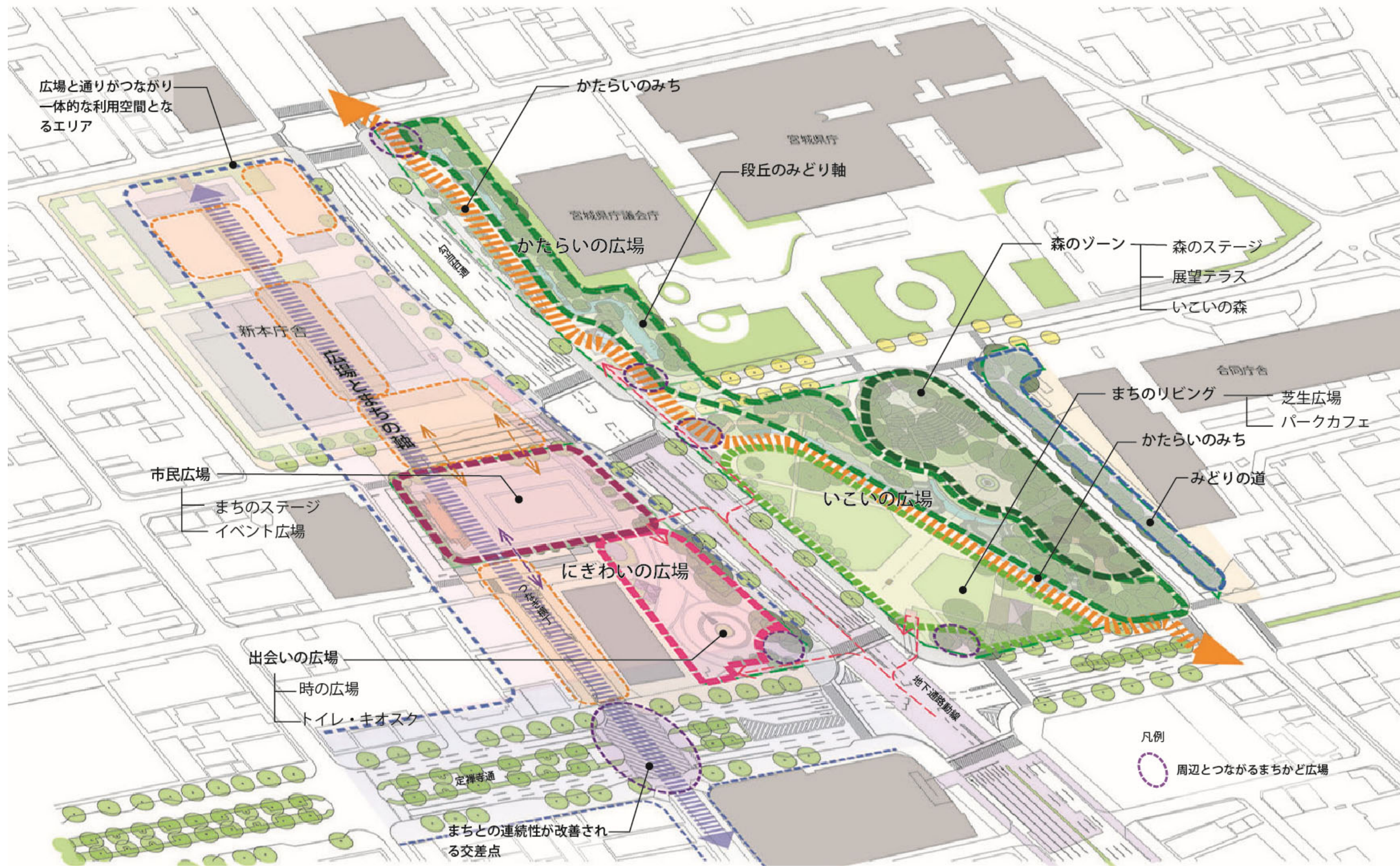
#### —1. 各広場の性格付け

再整備の視点を各広場の整備計画に展開していくため、敷地立地と利用特性および周辺地区との関係を踏まえて「広場の性格付け」を明らかにし、それを空間化していく上でのポイントについて「性格付けを実現するための大事なポイント」として整理し、広場同士の連携も考慮して再整備の方向性に反映させる。



—2. 空間構成計画

3つの広場の性格付けと整備方針を踏まえて、勾当台地区を貫く二本の南北軸の取り込み、新本庁舎広場、表小路やつなぎ横丁、定禅寺通など周辺との一体性を意識して、各空間の性格付けと機能内容を検討し、各広場の空間構成とする。



—3. 再整備計画

1) 再整備計画平面図



## 2) 各広場の再整備計画

### ①にぎわいの広場

従前からのイベント会場としての役割を継承しつつ、新本庁舎敷地内広場や表小路線、つなぎ横丁、定禅寺通など周辺と一体となったにぎわいの広場として整備を行う。新本庁舎敷地内広場や表小路線と連携した広場としての利活用を視野に入れた大広場空間の形成や新たに設けたにぎわい南口のエントランス機能により保存樹林や彫刻「時の広場」を活かした出会いと交流の場の形成などを行う。



にぎわい南口から出会いのテラスを望む。（イメージ）

## ②いこいの広場

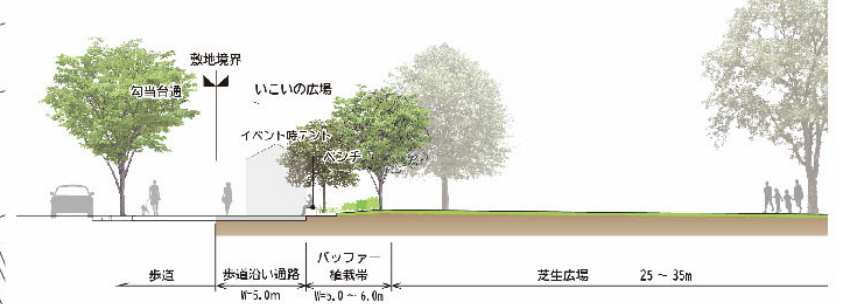
豊かな緑と潤いのある環境の中で、園内の風景を楽しみながら、ゆったりとした時間を過ごす、くつろぎといこいの広場。杜の都仙台の象徴である都心部の豊かなみどりによる居心地の良い空間の形成を行う。大小さまざまな音楽イベントに対応する野外ステージへの改修。快適な普段使いが可能となる下段部の芝生広場として整備を行う。



芝生広場や飲食店を望む。(イメージ)



勾当台側のバッファ植栽(A-A'断面図)





### ③かたらいの広場

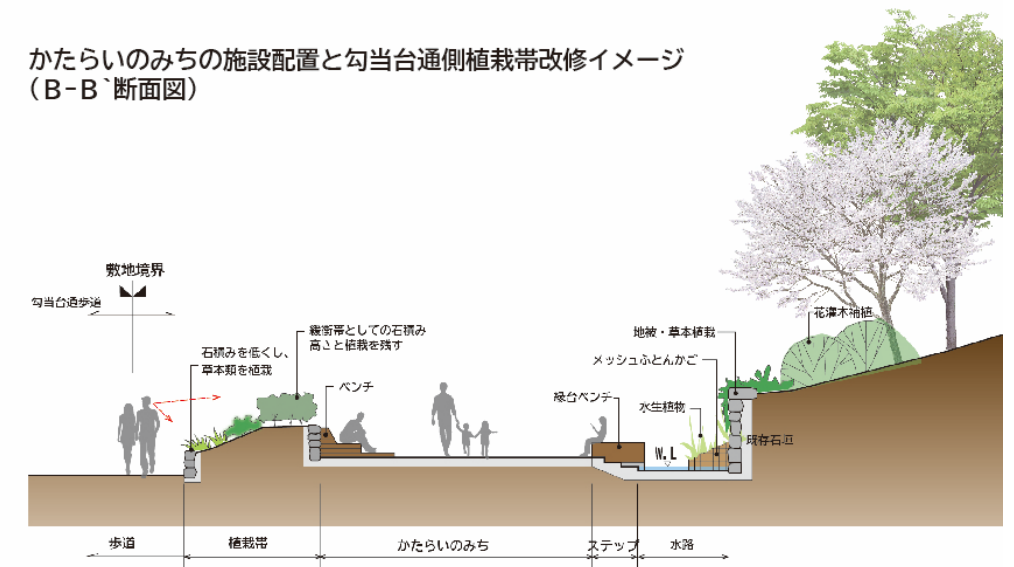
勾当台公園と周辺地区を巡る街歩きの中で一刻の休息の場を提供し、そこに垣間見える仙台の歴史や文化にふれ親しみ、語らう広場として整備する。既存水路を活かした親水性を高めた水路際の整備、既存の古図広場のジオラマを活かした滞留場所の形成、道路歩道からのスムーズな通行を可能とする出入口のバリアフリー化などを行う。



中町広場を望む。(イメージ)



かたらいのみちの施設配置と勾当台通側植栽帯改修イメージ (B-B 断面図)



### 3) 整備イメージパース

#### ①鳥瞰 新本庁舎からの眺め（休日の昼間のワンシーン）

●新本庁舎敷地内広場～表小路線～市民広場～つなぎ横丁～定禅寺通～一番町四丁目商店街が一体的に活用され、そこでは多種多様なイベントが行われ連続したにぎわいが生まれる。そのにぎわいに集う、多様な人々が新たな出会いの場となり、この出会いから生まれる新たな活動がまちの魅力やエリアの価値向上を生み出す。

●新たに設けられる勾当台公園の顔となるにぎわい南口では、いこいの広場や東二番町通、定禅寺通から人々を受け入れるエントランス機能となる。にぎわい南口からつながる出会いのテラスでは彫刻「時の広場」が待ち合わせスポットとなり、この公園で新たな出会いが生み出される。



※このパースは基本計画段階での整備イメージを表すものであり、今後の検討により変更になる場合があります。

## ②鳥瞰 いこいの広場（休日の昼間のワンシーン）

- 勾当台通からシームレスにつながる下段部の広々とした芝生に覆われた平坦な広場は都心の空間にゆとりと潤いを与え、日常的に多様な人々が自由な場所で飲食や休息といったくつろぎの場や、広場全体が見渡せることで親も安心して見守れる子供たちの遊びの場を提供する。
- 「杜の都仙台」を象徴する都心部の豊かなみどりに囲まれた空間は、人々にいこいの場を提供し、河岸段丘の高低差が生み出す立体的で奥行きを感じさせる水とみどりの景観や公園外周部のオフィスビルの足元を縁取る公園の豊かなみどりの景観を生み出す。
- 上段部の野外ステージは趣のある森の風景と野外ならではの開放感を継承しつつ、大小さまざまなイベントに対応した「森のステージ」としてリニューアルする。



※このパースは基本計画段階での整備イメージを表すものであり、今後の検討により変更になる場合があります。

③鳥瞰 かたらいの広場（休日の昼間）

- 河岸段丘によって生み出された「段丘のみどり軸」に沿って連なる石積みや水路、緑などの歴史と文化を感じ語らいながらそぞろ歩きを楽しめるみち空間を生み出す。
- 古図広場のリニューアルによって生み出される「中町広場」は、バスや地下鉄利用者等の新たな待ち合わせの場や街歩きの中での一休みの場となる。



※このパースは基本計画段階での整備イメージを表すものであり、今後の検討により変更になる場合があります。

4) 整備年次計画

● 基本的な考え方

勾当台公園は多種多様なイベント会場として年間270日程度利用されている公園であり、イベントなどの利用が継続できるように、段階的に3つの広場の再整備工事を実施する。

● 段階的年次計画概要

- ・再整備工事範囲、工種も多岐にわたることから、長期間の工事となるため第1期工事と第2期工事に区分した段階的再整備工事とする。
- ・公園利用と周辺事業との連携などに配慮して、各期各年次の工事範囲を検討する。
- ・第1期は、令和6年度から「にぎわいの広場(市民広場)」の代替広場として、「いこいの広場」下段部の一部に設ける仮設広場の工事を行い、仮設広場完成後に「にぎわいの広場」と「かたらいの広場」を対象に令和7年度から令和9年度にわたって再整備工事を実施する。
- ・第2期は、令和10年度から「いこいの広場」の再整備工事を実施する。

● 勾当台公園再整備及び関連事業スケジュール

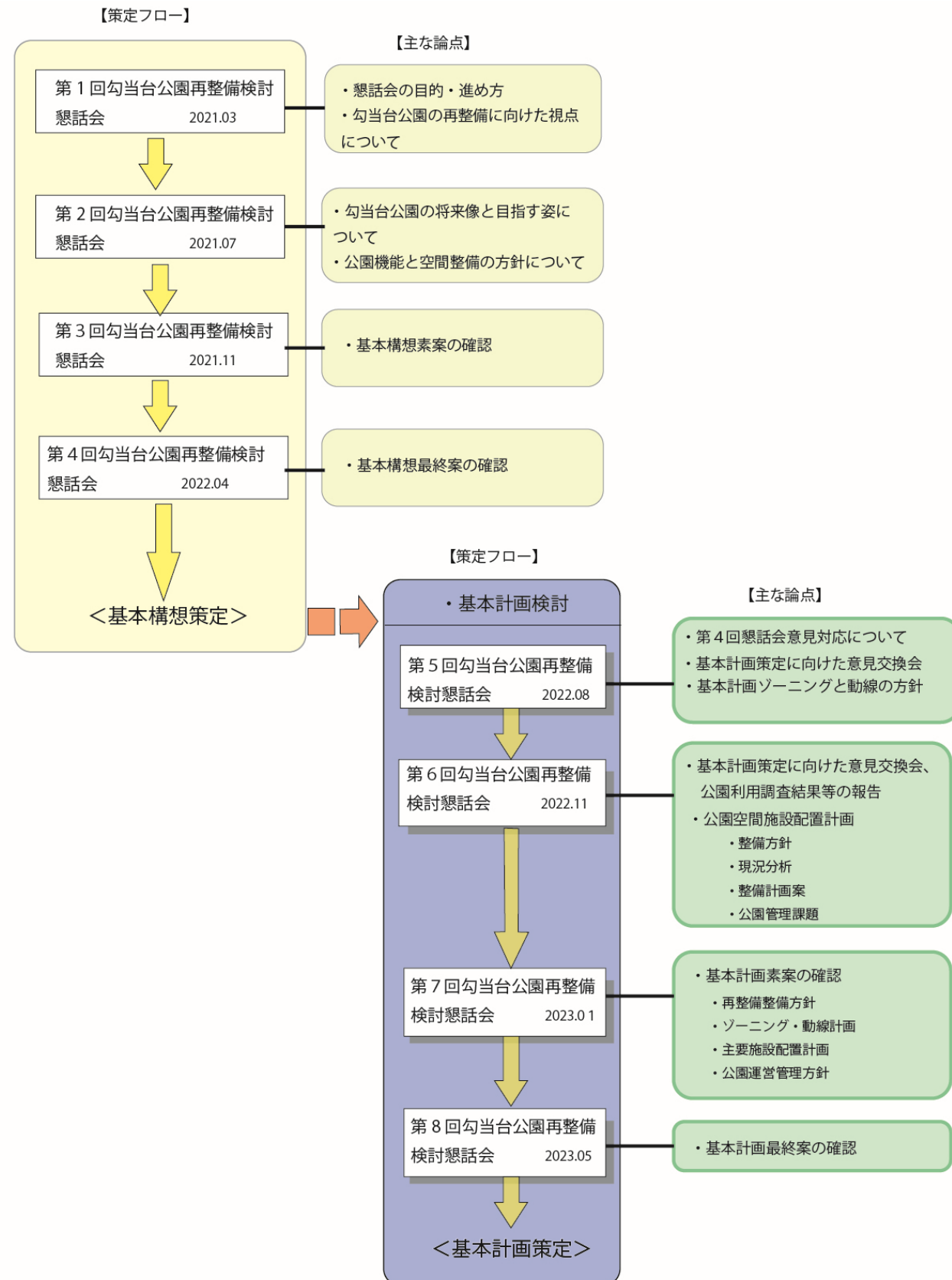
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
勾当台公園	基本計画	基本設計	実施設計	にぎわいの広場工事						
				かたらいの広場工事						
※仮設広場		設計	工事	仮設広場供用						
本庁舎	実施設計						市役所本庁舎供用開始(第1期)			
		解体	第1期工事					第2期工事		
表小路・つなぎ横丁		検討・設計			工事					
定禅寺通	★ 方針策定	測量調査設計	工事							
							市役所本庁舎供用開始(第2期)			

※仮設広場: にぎわいの広場(市民広場)の工事中に使いなくなるイベント等スペースの代替地としていこいの広場の下段部に一時的に設ける広場

—4. 計画の作成に向けた流れ

【勾当台公園検討懇話会設置の目的】

仙台市中心部における都市環境の変化や利用用途の拡大により、公園におけるニーズの変化が生じ、公園全体の機能刷新が求められている。今回、市内中心部の更なるにぎわいづくりや公園の価値向上のために、勾当台公園再整備の計画思想、計画の方向性、設計の主題等必要事項の整理・検討を行うことを目的に設置したもの。



【勾当台公園再整備検討懇話会 委員名簿】

氏名		所属・役職等
座長	もとえ まさしげ 本江 正茂	東北大学大学院工学研究科・工学部 准教授 東北大学災害科学国際研究所 准教授 宮城大学 事業構想学群 教授
座長代理	わたなべ かつら 渡部 桂	東北芸術工科大学デザイン工学部建築・環境デザイン学科 教授
委員	いわま ゆき 岩間 友希	特定非営利活動法人まちづくりスポット仙台 ディレクター
委員	うばうら みちお 姥浦 道生	東北大学大学院工学研究科 教授
委員	しょうじ まき 庄子 真岐	石巻専修大学経営学部 教授
委員	たかやま ひでき 高山 秀樹	仙台商工会議所 常務理事・事務局長
委員	ふくおか たかのり 福岡 孝則	東京農業大学地域環境科学部造園科学科 准教授

※敬称略・委員50音順